

公益社団法人 全国大学保健管理協会(JUHA) 国際連携委員会
一般社団法人 国立大学法人保健管理施設協議会 国際交流特別委員会
平成 28 年度 合同開催 議事録

平成 28 年 10 月 6 日(木) 12:40-13:30 (大阪国際会議場 10F 会議室 1004)

出席者: 国際連携委員会: 河邊博史(慶應義塾大学)、佐藤 武(佐賀大学)、中川 克(立命館大学)、
西尾彰泰(岐阜大学)、林 多喜王(北陸先端大学院大学)、山本眞由美(岐阜大学)、吉川弘明(金沢大学)
国際交流特別委員会: 岩崎泰正(高知大学)、石見 拓(京都大学)、富樫 整(山形大学)、
馬場久光(神戸大学)、丸谷俊之(東京工業大学)、山本眞由美(岐阜大学)、吉川弘明(金沢大学)

<50 音順>

欠席者: 国際連携委員会: 守山敏樹(大阪大学) 国際交流特別委員会: 鈴木眞理(政策大学院大学)

1) 議 事 :

1. 国際連携委員会の副委員長交替について

中川委員が適任とのことで交替が承認された。

2. 日本から留学する学生・職員のためのパンフレットを作成し(2015 年 4 月初版)、JUHA の HP で公開中であるが、修正・追加をして [2017 年 4 月第 2 版] を作製することとなった。

10 月末日までに修正・追加点として気付いた点を中川副委員長へメールで送ることとなった。

「海外留学健康の手引き」 http://health-uv.umin.ac.jp/kanren/img/ryugaku_kenko.pdf

丸谷委員から、ユニバーサルワクチンとしての B 型肝炎ワクチンに関する記載を追加した方がよいとの意見があった。

岩崎委員から蚊の媒介する疾患についての防蚊対策の記載強化の要望があった。

3. 留学生へ配布する英語パンフレット(Health Management on Campus)について

委員長より、[1]~[14] の分冊版、および合冊版の完成が報告された。製作費の負担も協会・協議会の両理事会で承認されたことも報告された。修正・加筆の必要な点に気付いたら、10 月末日までに、山本委員長までメールで送ることとなった。

石見委員より、パンフレット販売にかかわるバックマージンが協会、または協議会へ入る可能性を追求してはどうか、また、PDF でフリー公開した方が公益性が高いのではないかと、との意見があった。現時点では想定していなかったが、今後、検討していくこととなった。

4. 感染症のパンフレットの英語版について

エイズ・感染症委員会へ原稿を送り、製作を依頼したことが、委員長から報告があった。

5. CAMPUS HEALTH 54(2)の特集テーマ「大学国際化における健康支援」の執筆分担について

添付分担表を承認された。協会の事務局へ委員長から報告し、執筆依頼文を送ってもらうようすすめることとなった。(投稿規定テンプレートで 6 ページ以内、2017 年 1 月 31 日〆切)

6. 留学生の健康診断マニュアル(公開中)のアップデートについて

① 問診(Health Questionnaire)を含む健康診断業務の日英対表

② 健康診断証明書(Health Certification)のひな型

③ 予防接種証明書(Certificate of Immunization)のひな型

①②③について修正・加筆があれば、10 月末日までに委員長へメールで知らせることとなった。

2) 国際交流活動の経緯

ACHA 年次集会

2010. 6. 1 - 5	フィラデルフィア	ポスター(金沢大、岐阜大より)
2012. 5. 28 - 6. 1	シカゴ	セッション企画(国際交流特別委員会、山本・吉川・足立による)
2013. 5. 28 - 6. 1	ボストン	ポスター(国際シンポの報告、金沢大、北陸先端大学院大より) 日米スモールレセプション
2014. 5. 27 - 31	サンアントニオ	ポスター(金沢大より)、JUHA セッション(中川・山本・西尾による) 会長と討議
2015. 5. 26 - 30	オーランド	JUHA セッション企画(中川・山本・西尾による) ポスター(岐阜大、常葉大、禁煙推進特別委員会より)
2016. 5. 31 - 6. 4	サンフランシスコ	日米同一テーマ(大学敷地内禁煙)についてジョイントセッション実施
2017. 5. 30 - 6. 3	フェニックス	日米同一テーマ(メンタル支援)についてジョイントセッション企画中

Student Health Association(SHA)(英国)

2012. 7. 4 - 7 JUHA の紹介 Address (国際交流委員会より)

JUHA

- 第 50 回(2012) 神戸 50 周年記念国際シンポジウム
(ACHA Haubenreiser 会長、SHA Harpreet 会長、JUHA 齊藤副理事長)
- 第 51 回(2013) 岐阜 招聘講演(ACHA Barkin 前会長、SHA Weinreb 前会長)

近年の委員会開催 :

国際連携委員会開催: 平成 25 年 6 月 14 日、平成 26 年 6 月 6 日

国際連携委員会・国際交流特別委員会と合同開催: 平成 25 年 11 月 14 日、平成 26 年 9 月 3 日、平成 27 年 9 月 10 日

委員長から、現在のところ、米国(ACHA)とのパイプライン構築が中心になっていると説明があった。いろいろ調査してきたが、文科省とパイプのある JUHA や、保健省とパイプのある ACHA のような全国組織が確立している国は意外と少ない印象を持っているとの説明もあった。

佐藤委員からは、台湾、中国、韓国にも全国組織はないようだとの発言があった。

西尾委員からは、インターネットで確認すると、フランスは、しっかりした全国組織があるようだとの発言があった。

馬場委員から、第 56 回全国大学保健管理研究集会(東京)では、国際に関するプログラムを入れてもらってはどうかとの意見があった。

その他、米国、ヨーロッパ諸国の大学における保健管理業務体制と日本の実情とのちがいが(例えば、カウンセラー数の多さ、サービスに対する費用負担の有無など)について、多々意見交換がなされた。ちなみに、欧米の大学では、学生から「保健管理費用」を徴収することは普通であり、吉川委員からは、「米国では、この費用を払わない学生は学内の保健サービスが受けられないらしい」、西尾委員からは、「自分がフランスに留学した際、この費用を支払わないと学生証がもらえなかったので、支払わないという選択はなかった」などの情報提供もなされた。